

大雨による災害

知っておきたい!情報の意味

大雨時に富士市や気象庁から発信される避難や気象に関する情報は、5段階の「警戒レベル」を用いて市民の皆さんへ伝達します。意味をあらかじめ理解しておきましょう。

「警戒レベル」ととるべき行動

警戒レベル	とるべき行動等	富士市が発令する避難情報	<※防災気象情報>
警戒レベル 5	命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難場所へ避難しましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 近隣や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)と支援者は避難しましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。		氾濫注意情報 洪水注意報 等
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報

※防災気象情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

気象に関する情報

大雨による浸水や土砂災害は、突然起こる地震と違い、雨の降り方や気象情報、河川の水位情報等から事前に避難することが可能です。これらの情報を有効に活用し、大雨による災害から命を守りましょう。なお、気象注意報・警報は、「富士市に●●警報が発表されました」と市町を特定して発表されますが、広い範囲に同じ情報が出された場合、テレビ等では、「静岡県東部に」「富士山南西に」と報道されることもあります。

土砂災害	浸水害	洪水害
<p>大雨注意報</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがある。 雨がやんでも、土砂災害等のおそれ残っている場合には発表を継続する。 <ul style="list-style-type: none"> →豪雨災害における避難についてはP9 →豪雨に関する情報収集についてはP8 		<p>洪水注意報</p> <p>河川の上流域での大雨や融雪によって下流域で洪水害(河川の増水や堤防の損傷による浸水害)が発生するおそれがある。</p>
<p>大雨警報</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがある。 雨がやんでも重大な土砂災害等のおそれ残っている場合には発表を継続する。 		<p>洪水警報</p> <p>河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害(河川の増水や堤防の損傷による浸水害)が発生するおそれがある。</p>
<p>土砂災害警戒情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨警報が発表されている状況で、さらに大雨が降り、土砂災害の危険性が高まったときに発表される。 市は、土砂災害警戒情報の発表を受け、市内の土砂災害の危険区域に避難指示を発令する。 		
		<p>大雨特別警報</p> <p>台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨になるおそれがある。雨がやんでも重大な災害のおそれが著しく大きい場合には発表を継続する。</p>

※大雨特別警報は、都道府県程度の広い範囲での大雨を対象としているため、局所的な大雨(ゲリラ豪雨)では発表されません。

豪雨に関する情報収集について

気象情報の収集手段には様々なものがあります。停電などを想定して、複数の情報収集手段を確保しておきましょう。

◎テレビを使った情報収集



テレビのリモコンのdボタンを押すとデータ放送が閲覧できます。市内の10分ごとの降水量や河川の水位、発表されている注意報・警報、指定緊急避難場所の開設状況などが表示されます。

テレビ局によって表示内容が異なりますので、日頃からご確認ください。

◎同報無線を使った情報収集



大雨警報や土砂災害警戒情報等が発表された場合、Jアラート(全国瞬時警報システム)により瞬時に同報無線放送を行います。しかし、豪雨時は雨音で聞き取りにくくなるのが想定されますので、放送内容を自宅で聞くことができる「富士市防災ラジオ」の準備や携帯電話等で受信できる「富士市メールサービス(同報無線情報)」の登録をしておきましょう。

富士市防災ラジオ

テレビだけでは、停電が発生した場合に情報を集められなくなるおそれがあります。富士市防災ラジオ等と予備の乾電池を用意しておきましょう。



同報無線の放送内容を聞くことができるほか、一般のラジオ放送も聞くこともできます。

Radio 84.4fm

ラジオエフ(FM84.4)では、富士・富士宮地域に密着した災害情報を入手できます。

富士市メールサービス(同報無線情報)

同報無線の放送内容(火災以外)をメールで受信することができます。

下記のアドレスに件名や本文を入れずにメールを送信し、送られて来るメールに従って登録作業をしてください。



★同報無線情報登録用メールアドレス
t-fuji@sg-m.jp

※迷惑メールフィルターをかけている場合、ドメイン名「city.fuji.shizuoka.jp」からのメール受信をあらかじめ許可してください(@は付けずに登録してください。)



◎パソコンを使った情報収集

静岡県土木総合防災情報「サイボスレーダー」

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



静岡県の気象情報、雨量、河川水位、観測地点のライブカメラ映像など

国土交通省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/>



国土交通省が提供する雨量・河川水位・ライブカメラ映像など

気象庁「キキクル(危険度分布)」

<http://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



雨雲の動き、土砂災害、浸水害、洪水の危険度など

静岡県「土砂災害警戒情報」

<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>



土壌雨量指数、土砂災害危険度

豪雨災害における避難について

豪雨時の避難は、タイミングや災害の進展状況によって、一律に市指定避難所に避難すれば良いというものではありません。災害発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

豪雨災害

洪水害

- 浸水想定区域・浸水深の確認 (P11~参照)
- 避難先の確保 (危険区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報を収集

浸水前の早い段階で浸水想定区域外に避難することが最も安全

浸水想定区域



浸水想定区域外

- 親戚・知人宅
- 町内会(区)の公会堂
- 自家用車の中
- [開設されている場合]
- 地区まちづくりセンター
- 市指定避難場所

避難!

土砂災害

- 危険箇所の確認 (P31以降確認)
- 避難先の確保 (危険区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や今後の雨の降り方などの情報を収集、土砂災害の前兆現象に注意

風雨が強まる前の早い段階で土砂災害の危険区域外に避難することが最も安全



土砂災害危険区域外

- 親戚・知人宅
- 町内会(区)の公会堂
- 自家用車の中
- [開設されている場合]
- 地区まちづくりセンター

避難!

避難!

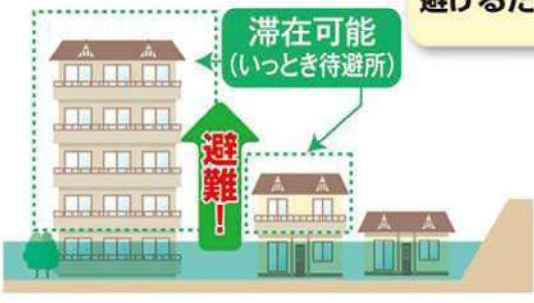
危険区域外への避難

水平避難

情報収集により、早めに危険区域から出る事が大原則ですが、浸水が始まったり、風雨が強まったりした中、屋外に出ることは危険が伴います

屋外での被災を避けるための避難

垂直避難



- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上の上層階



- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上
- かけ崩れ・土石流が襲ってくる方向からできる限り離れた部屋

風水害時の避難場所

避難する先は、公的な避難場所・避難所にこだわる必要はありません。各家庭の状況に応じて「親戚・知人宅」「ホテル・旅館」「車中泊」「自宅(在宅避難)」など、感染症対策も含めたさまざまな災害から命を守ることができる避難先を想定し、地域の人たちが分散避難することが大切です。

◎早期避難場所

台風や大雨により、市内で河川洪水や土砂災害などのおそれがある場合に、風雨が強まる前や日没前の早い段階で地区まちづくりセンターを「早期避難場所」として開設します。降雨や河川水位などの情報をもとに、早めの避難を心がけてください。まちづくりセンターは、土砂災害の緊急避難場所も兼ねています。



施設	想定浸水深			施設	想定浸水深			施設	想定浸水深		
	富士川	潤井川	小潤井川		富士川	潤井川	小潤井川		富士川	潤井川	小潤井川
吉原 まちづくりセンター	—m	0.3m	1.0m	原田 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士南 まちづくりセンター	1.3m	—m	—m
伝法 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士見台 まちづくりセンター	—m	—m	—m	岩松北 まちづくりセンター	2.4m	—m	—m
今泉 まちづくりセンター	—m	—m	—m	神戸 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士川 まちづくりセンター	—m	—m	—m
青葉台 まちづくりセンター	—m	—m	—m	吉永北 まちづくりセンター	—m	—m	—m	松野 まちづくりセンター	—m	—m	—m
吉永 まちづくりセンター	—m	—m	—m	大淵 まちづくりセンター	—m	—m	—m	鷹岡 まちづくりセンター	—m	—m	—m
元吉原 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士駅北 まちづくりセンター	1.5m	—m	—m	広見 まちづくりセンター	—m	—m	—m
須津 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士駅南 まちづくりセンター	0.7m	—m	—m	天間 まちづくりセンター	—m	—m	—m
浮島 まちづくりセンター	—m	—m	—m	田子浦 まちづくりセンター	2.7m	0.4m	—m	丘 まちづくりセンター	—m	—m	—m

※岩松まちづくりセンター、富士北まちづくりセンターは、河川洪水による危険性が高い施設のため、開設しません。

(岩松まちづくりセンター:富士川の想定浸水深が3.0m(2階床面相当)以上、富士北まちづくりセンター:潤井川の家屋倒壊危険ゾーン内)

※施設が浸水想定区域内にある場合は、施設の上層階に避難してください。

◎洪水時車いっとき避難場所

洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された際に、感染症への不安などから危険区域からの避難を躊躇しないよう、車による一時的な滞在場所として開設します。開設する3施設は洪水浸水想定区域外ですが、事前に安全な避難経路を確認し、避難経路の道路冠水など危険が伴う状況での移動は避けましょう。

施設名
富士総合運動公園駐車場A
富士西公園駐車場
富士信用金庫研修センター東側駐車場

◎風水害時の緊急避難場所

洪水、土砂災害等の災害の危険が切迫した状況において、緊急に避難する場合の場所や施設です。河川ごとに発表される洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された後に、浸水が想定される地区内の学校施設を風水害時の「緊急避難場所」として開設します。河川ごとに開設される施設が異なりますので、事前にP12~P14を確認してください。

避難場所を決めるために

浸水継続時間を、ふじタウンマップ(P11参照)で確認しましょう。浸水してから水が引くまでに2日間(48時間)以上かかる場所もあります。

浸水してしまうと、電気・ガス・水道・トイレなどが使えない状況で長時間生活することになります。垂直避難をする場合、2階以上に水・食料・防寒用品・携帯トイレなどを備蓄しておくことが必要です。市指定緊急避難場所へ避難する際も、非常持ち出し品として持参してください。

パソコン・スマートフォンを使った浸水想定の確認方法について

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

洪水の浸水想定について、自宅や会社など指定した地点に影響を与える破堤点を確認することや、浸水到達時間をアニメーションやグラフで確認することができます。



ハザードマップでは3~5mと
なっているけど、詳しい浸水深は?
何分後にどれくらい水が浸水するの?

【想定浸水深】検索イメージ

時間: 60分
浸水深: 2.96m
最大浸水深: 3.81m

赤いピンの位置の水深

1時間で3m!?
足の悪い母もいるし、
安全に移動できるタイミングで
早く避難しておかないと

【想定浸水継続時間】検索イメージ

24~72時間未満



防災アプリ(静岡県防災)

静岡県では令和元年6月1日から、スマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始しました。各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えています。



アプリ
インストール

11の外国語に対応

防災アプリの役立つ機能

防災訓練にも
オススメ!

- 防災情報・お知らせ** 緊急防災情報をいつでも確認!
防災情報・お知らせ
- マップ・避難場所等** 地域の危険性や避難先を把握!
マップ・避難場所等
- 危険度体験** 浸水状況をビジュアルで確認!
危険度体験
- 避難トレーニング** 避難を開始してから避難先までの経路や時間を記録します
訓練後にトレーニングした経路の再生ができ、津波の浸水状況を重ねることもできます。
- 現在地の危険度情報** 現在地の危険度がわかる!
現在地の防災情報
- 学習コンテンツ** 防災知識を学んでテスト!
学習コンテンツ

安否登録 設定メニューからGoogleパーソンファインダ安否登録が可能です。

風水害以外も
自宅周辺の
災害危険度をすべて
確認したい。

ふじタウンマップ

自宅や会社周辺の災害想定は、パソコンまたはスマートフォンで「ふじタウンマップ」を使用すると、住所から簡単にハザードマップを確認することができます。洪水浸水想定区域図のほか、浸水継続時間、土砂災害(特別)警戒区域、津波浸水想定区域図、液状化危険度、防災関連施設なども確認できます。